

団体名	公益財団法人大阪国際交流センター							
事業名	多文化共生社会を担う外国人住民サポート事業「アイハウスde多文化体験2017」							
実施期間	平成29年10月8日(日)11:00~16:00							
場 所	大阪国際交流センター							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	53	16	2	39	9	0	651	770名

<実施内容>

10月8日(日)、大阪国際交流センターを会場とし、JASSO大阪日本語教育センター、ECC国際外語専門学校留学生、大阪府立成美高等学校外国人生徒をはじめとする外国人住民が、来場者である地域住民に自国の文化を紹介するイベントを実施しました。

34組(個人・グループ)の外国人がエントリーし、ミャンマー、中国、タイ、ベトナム、ブラジル、台湾、カンボジア、インドネシア、フィリピンなどの料理、ウイグルやスペインのダンス、内モンゴルの歌、韓国の遊び、インドヨガの呼吸法などを1時間程度で来場者に披露しました。

今回は、外国人住民が企画した自国の文化紹介プログラムを、サポーターボランティア(日本人)の協力を得て、ともに作り上げ披露し、地域住民と交流しながら、子供から大人まで参加して楽しめるイベントとなりました。

すべてのプログラム終了後、フィナーレでは外国人出演者、ボランティア、来場者が一堂に会し、日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、インドネシア語などの多言語で「しあわせなら手を叩こう」を合唱し、盛り上がりました。

<記録写真>



写真1. 自国文化の紹介
(インドネシアについて知っていますか)



写真2. 内モンゴルの歌と馬頭琴



写真3 フィナーレ
出演者・来場者・ボランティア全員による
各言語で「幸せなら手を叩こう」を合唱

<参加者からのコメント>

<p>S.Z.X.さん(台湾) / S.Z.X.(Taiwan)</p> <p>日本のお母さん達と一緒に台湾の朝ご飯(タンビン)を作って、とても楽しかったです。台湾が好きな人と出会って、たくさん話をしてよかったです。自分も改めて自国のことを認識しました。</p>	<p>F.K.さん(ブラジル) / F.K.(Brazil)</p> <p>最後に「ありがとう」と言われました。達成感を感じられました。大勢の日本人の前で発表して緊張しましたが、とてもいい経験です。</p>
---	---